



# うぶみ



図書館だより 第6号 平成28年9月12日  
石巻商業高校図書委員会



## 平成28年度 芸術鑑賞会 ミュージカル落語

出演：三遊亭究斗 ピアノ1名 落語家1名（計3名）  
月日：9月29日（木）13：00～  
会場：本校体育館



出演の三遊亭究斗さんは、劇団四季出身の落語家。

「ミュージカル落語」とは、「ミュージカル」と「落語」を合わせた内容です。

「音楽」と「歌」と「語り」の入ったエンターテインメントたっぷりの「ミュージカル落語」♪  
当日をお楽しみに！！

### 図書委員がお薦めします

『アナザー：エピソードS』

綾辻行人 角川書店

この作品は「アナザー：Another」という作品の続編です。前作を読んでいなくても楽しんで読める作品です。ホラー&ミステリーが好きな方にはおすすめです。

1-3 図書委員

### ☆☆人気図書ベスト8☆☆

4～8月の間、多く貸し出された本を紹介します。

1. ビブリア古書堂の事件手帖 三上延
2. 池上彰のやさしい経済学 池上彰
3. 魔法使いのハーブティー 有間カオル
4. さくらんぼ An
5. 試験に受かる作文・小論文の書き方 針谷雅英
6. ぼくは明日、昨日のきみとデートする 七月隆文

7. 君のそばにいる条件 ゆーり
8. 世界から猫が消えたなら 川村元気

1位の「ビブリア古書堂」シリーズは、数年前からの人気図書。現在は5巻までそろっています。6位「ぼくは明日、昨日のきみと～」は映画化も決まり、男女共に選ばれる本。



### 第155回芥川賞・直木賞

#### 芥川賞

『コンビニ人間』村田沙耶香 文藝春秋

「普通」とは何か？を軽やかに問う。著者の村田さんも、題材となる“コンビニ”勤務の経験があるそうです。

#### 直木賞『海に見える理髪店』荻原浩 集英社

永遠のようではかない、家族の時間を描く6編の小説。



どちらも受賞作とあって人気あり。読みやすい内容ですので、おすすめです☆☆☆☆☆☆☆☆

『ディズニー感動のサービス』

小松田勝 KADOKAWA

この本では・・・

☆ディズニーならではの感動がある  
☆キャストの日々の苦労が綴られる  
☆ディズニーの深い部分まで、知ることができる

おすすめです。

1-3 図書委員

# 新 着 の 本 棚



『きょうの日はさようなら』

一穂ミチ 集英社

主人公の今日子は、長い眠りから目覚めたばかりの、三十年前の女子高生だった。今日子はその時代に目覚めた真相とは???



『ドクターぶたぶた』

矢崎在美 光文社

『サマーウォーズ：クライシス・オブ・OZ』土屋つかさ KADOKAWA

カズマは電子空間OZで、正体不明のデータを持つマキに出会う。名作アニメのオリジナルストーリー。

『ままならないから私とあなた』朝井リョウ 文藝春秋



正しいと思われていることは、本当に正しいのか。読者の価値観を揺さぶる二篇が収録。

『世にも奇妙な君物語』

朝井リョウ 講談社

『世にも奇妙な物語』ではありません。このドラマのファンである著者が、ドラマを意識しながら書いた、全五編の短編集。

『首折り男のための協奏曲』

伊坂幸太郎 新潮社

『サブマリン』

伊坂幸太郎 講談社

前作の『チルドレン』から、12年。家裁調査官・陣内と武藤が会う、新たな少年達との物語。

『奇縁七景』乾ルカ 光文社

「虫が好かない」「目に入れても」「報いの一矢」「夜の鶴」「只より高いもの」「黒い瞳（め）の内」「岡目八目」一聞き覚えのある七つの言葉から生まれた、まったく読み味の異なる七つの奇妙な物語。

『希望の海：仙河海叙景』

熊谷達也 集英社

東北の港町に生きる人々の姿を通して紡がれる、3・11からの再生の物語、全9編。ちなみに副題にある仙河海とは宮城県気仙沼市のこと。



『四人組がいた。』

高村薫 文藝春秋



『教場 2』

長岡弘樹 小学館

『丹生都比売 におつひめ』

梨木香歩 新潮社

『どこかでベーターヴェン』

中山七里 宝島社

『さようならドビュッシー』でおなじみ、ピアニスト探偵：岬洋

介の活躍する有名作曲家シリーズの最新作♪♪

『異邦人』

原田マハ PHP研究所

『暗幕のゲルニカ』

原田マハ 新潮社

ピカソの〈ゲルニカ〉。国連本部のロビーに飾られていたこの名画のタペストリーが、2003年のある日、突然姿を消した一誰が〈ゲルニカ〉を隠したのか？前作『楽園のカンヴァス』の姉妹編。



根強い人気☆濱かなえの本

『ユートピア』 集英社

『絶唱』 新潮社

『物語のおわり』朝日新聞出版

『リバース』 講談社

『真実の10メートル手前』

米澤穂信 東京創元社

賞こそ逃したが、今回の直木賞の候補作。

『すごろく巡礼：代書屋ミクラ』

松崎有理 光文社

東北大学出身の著者。作品の舞台もどうやら仙台のよう。『代書屋ミクラ』の続編。